



H 2 7 年 度 自 立 活 動 基 礎 研 修

摂食研修



アンケート結果から

- 飲み込む練習
- 口を閉じる練習
- 噛む練習

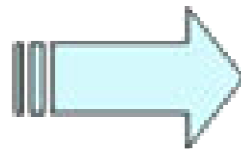
を中心に。



★飲み込む練習

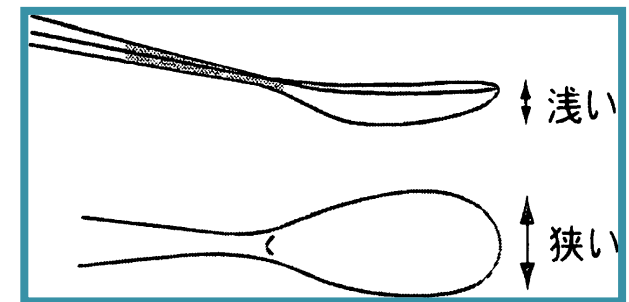
- 味覚刺激
- スライスゼリー
- （歯肉マッサージ）

味覚刺激による嚥下練習

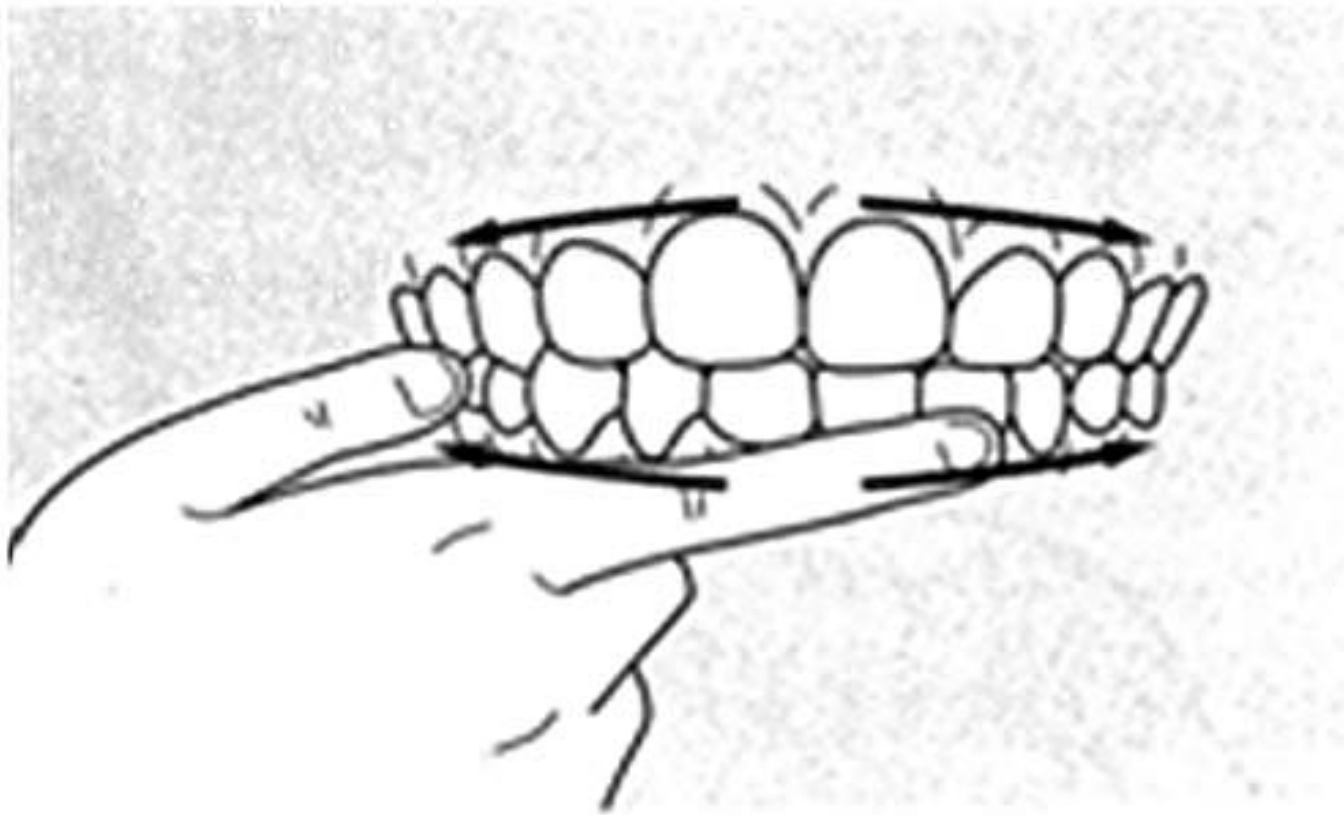


- ① 下唇の内側に飴を塗る。
- ② 甘み成分が口の中に広がる。
- ③ 唾液が出るので、介助のまま嚥下。

スライス型ゼリー丸のみ法



歯肉マッサージ (ガム・ラビング gum rubbing)

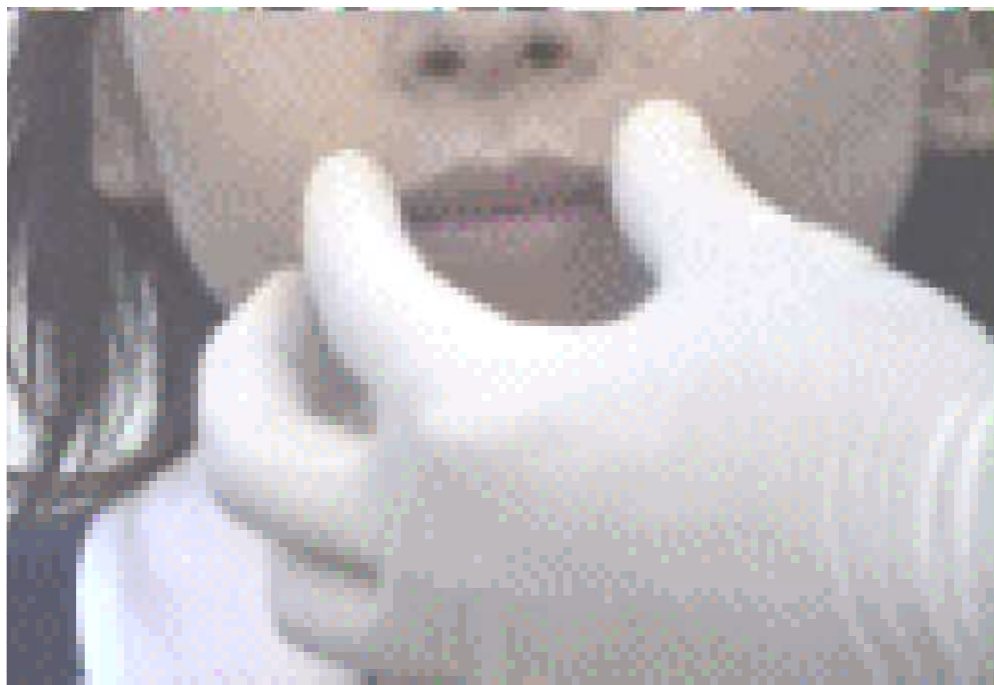




★口を閉じる練習

- 口唇訓練

唇の動きを出す



唇の動きを出す



バンゲード法（筋刺激訓練法）



バンゲード法（筋刺激訓練法）



バンゲード法（筋刺激訓練法）



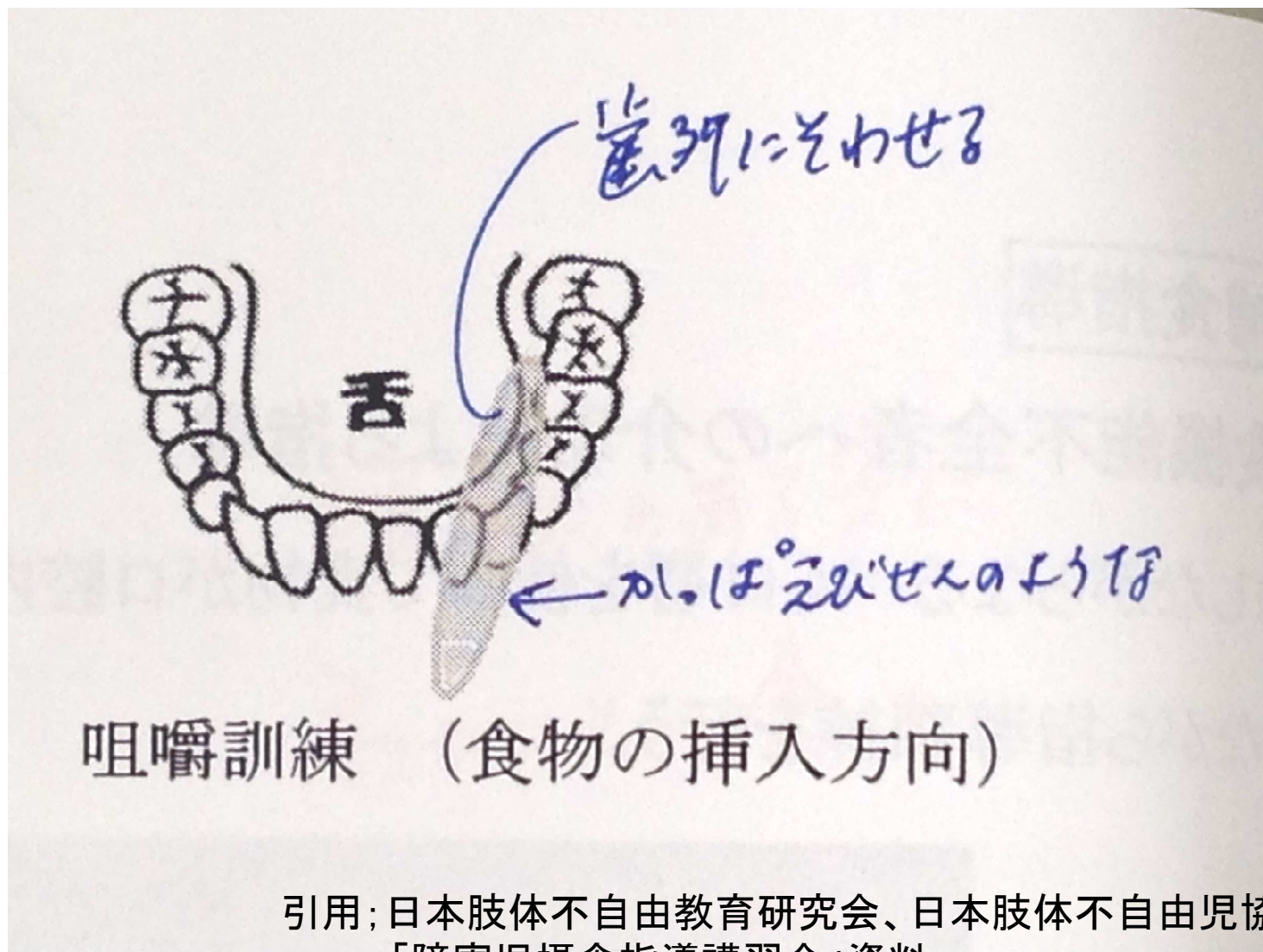
バンゲード法（筋刺激訓練法）



バンゲード法（筋刺激訓練法）



★噛む練習



引用; 日本肢体不自由教育研究会、日本肢体不自由児協会主催
「障害児摂食指導講習会」資料



食物形態

D V D

- 食物形態と口腔機能
- 嚥下前誤嚥、嚥下後誤嚥、嚥下中誤嚥

DVDは『嚥下の見える評価をしよう！ 頸部聴診法トレーニング』を使用



正常嚥下のV F

D V D

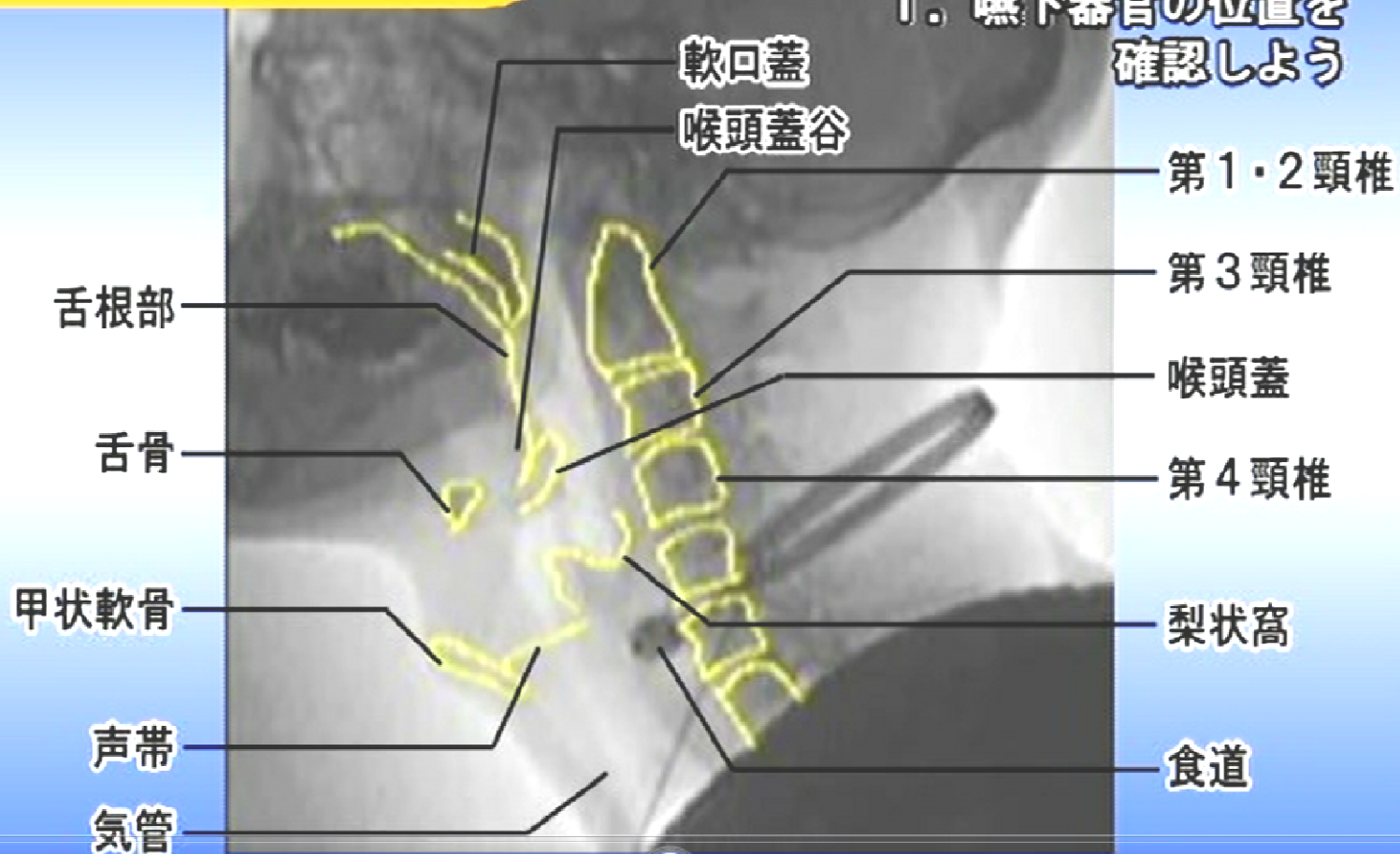
- 嚥下器官の位置を確認しよう
- 嚥下の一連の流れをみてみよう
- 食塊の動きに注目しよう
- 嚥下器官の動態に注目しよう

正常嚥下のVF

1. 嚥下メカニズム

A. 健常者のVF

1. 嚥下器官の位置を確認しよう





正常嚥下のV F

D V D

- ゼリー摂取
- 固形物摂取
- 液体摂取



グループワーク ～食物形態をみるときに～

実際に食べてみて・・・
形態をどう表現するか



食物形態をみるときに

- かたさ
- まとまりやすさ
- ベタベタしやすさ